

# 令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：31001

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇学習などについてのアンケートでは「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある」と答えた生徒が90%を超えており、話し合い活動を中心に、他者との関わりの中で楽しみながら学ぶ生徒を育成することができた。</p> <p>◇ICTの活用に関するアンケートでは、「情報の正しい活用の仕方を考えて端末を使っている。」「疑問や課題を解決するために、端末を使って自分なりに調べようとしている。」と答えた生徒も90%を超えている。</p> <p>◇「振り返ったことを次に生かそうとしている。」と答えた生徒が90%を超えている。</p>	<p>◇「学ぶ力」育成に向けた5つのポイントでは、「自分の意見を進んで発言しようとしている。」と答えた生徒が70%に止まっている。また、「自分で計画を立てて学習を進めている」生徒60%台と低くなっている。</p> <p>◇「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している。」と答えた生徒が70%台に止まっている。</p> <p>◇授業以外で端末を使う時間や時間帯について、気を付けていると答えた生徒が60%台と低くなっている。</p> <p>◇全国学力学習状況調査では、「先生はわかるまで教えてくれますか。」という質問に対する回答が、全国平均を3ポイント以上下回っている。「分かる」実感を伴う個別最適な授業づくりが課題である。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇学習などについてのアンケートでは「人の役に立つ人間になりたい。」と答えた生徒が90%を超えている一方で、「自分が必要とされていると感じる。」と答えた生徒は70%台に止まっている。全国学力学習状況調査でも、「自分によいところがある。」と答えた生徒の割合が前年度を下回っている。</p> <p>◇共通指標アンケートでは、他者への承認については高い数値を示し、他者との関わりの中で学びの深まりを実感している生徒が多い実態を生かし、自己肯定感を高める実践につなげていきたい。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

## 見方・考え方を働かせ、未知の課題に向き合う力を育む 授業の研究

取組	課題探究的な学習の推進に向けて	自主的な活動の充実に向けて
	<p>(1)「学ぶ力」を支える三つの資質・能力をバランス良く育むために、「見方・考え方」を働かせる授業の実践。</p> <p>(2)育む資質・能力を明確に設定し、生徒が学びの良さを実感できる授業の実践。</p> <p>(3)個別最適で協働的な学びを支える、効果的なICTの活用。</p> <p>(4)一人ひとりの見通しをもち、主体的・計画的に学習を進めることができるような学習支援の在り方。</p>	<p>①生徒が自分のよさや可能性を認識し、自己肯定感を高めながら取り組む活動の充実。→学級活動、学校行事、生徒会活動</p> <p>②他者との関わりの中で、互いの良さを発見し合いながら、話し合い活動や協働活動を通して、自分たちで課題を解決していく達成感を感じられる活動の推進。→学級経営、学年経営</p> <p>③身につけた知識や技能が実生活の場で役立つ実感を伴った学習活動の充実。</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について		
<p>◇本年度の校内研究の視点として「個別最適で協働的な学びを支える効果的なICTの活用」を掲げ、ICT活用に関する校内研修や実践交流を行う。</p> <p>◇①・②について、Googleformなどを活用し、活発な意見交流を行いながら生徒の活動を充実させる。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

